

もりふれ倶楽部通信 NO.60

ネズミにちゅうもく！



NPO 法人もりふれ倶楽部

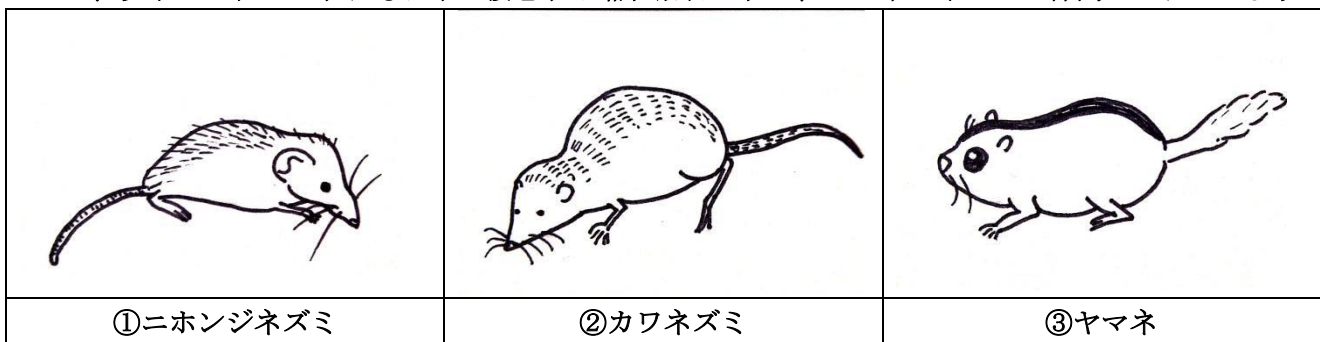
理事 池田友紀

2020年の干支はネズミです。

年明けから早くも4ヶ月が経とうとしていますが、あらためて今年の干支、ネズミをとりあげてみたいと思います。

1.何種類知ってる？日本のネズミたち

さて、以下の3種はいずれも日本に棲息する哺乳動物ですが、この中でネズミの仲間は何れでしょう？



日本のネズミの仲間を一覧にしてみました。正解は次ページの表の中↓

No	科No	科	標準和名	Genus	Species	日本固有種	絶滅危惧他※	外来種
1	1	リス科	ニホンリス	Sciurus	lis	○	LP(九州、中国)	
2	2		キタリス	Sciurus	vulgaris			
3	3		ムササビ(ホオジロムササビ)	Petaurista	leucogenys	○		
4	4		ニホンモモンガ	Pteromys	momonga	○		
5	5		タイリクモモンガ	Pteromys	volans			
6	6		クリハラリス	Callosciurus	erythraeus			○
7	7		シマリス	Tamias	sibiricus		DD	
8	1	ヤマネ科	ヤマネ	Glirulus	japonicus	○	天	
9	1	キヌゲネズミ科	ハタネズミ	Microtus	montebelli	○		
10	2		ヤチネズミ	Eothenomys	andersoni	○		
11	3		ムクゲネズミ	Myodes	rex			
12	4		タイリクヤチネズミ	Myodes	rufocanus			
13	5		ヒメヤチネズミ	Myodes	rutilus			
14	6		スミスネズミ	Eothenomys	smithii	○		
15	7		マスカラット	Ondatra	zibethicus			○
16	1	ネズミ科	セスジネズミ	Apodemus	agrarius		CR	
17	2		ヒメネズミ	Apodemus	argenteus	○		
18	3		ハントウアカネズミ	Apodemus	peninsulae			
19	4		アカネズミ	Apodemus	speciosus	○		
20	5		ケナガネズミ	Diplothrix	legata	○	EN・天・希	
21	6		カヤネズミ	Micromys	minutus			
22	7		オキナワハツカネズミ	Mus	caroli			
23	8		ハツカネズミ	Mus	musculus			○
24	9		ドブネズミ	Rattus	norvegicus			○
25	10		クマネズミ	Rattus	rattus			○
26	11		オキナワトゲネズミ	Tokudaia	muenninki	○	CR・希	
27	12		アマミトゲネズミ	Tokudaia	osimensis	○	EN・希	
28	13		トクノシマトゲネズミ	Tokudaia	tokunoshimensis	○	EN・希	
29	1	ヌートリア科	ヌートリア	Myocastor	coypus			○
このリストは、日本哺乳類学会推奨「世界哺乳類標準和名リスト」(2018)に準拠して作成しました								
※ LP: 絶滅のおそれのある地域個体群								
DD: 情報不足								
CR: 絶滅危惧IA類								
EN: 絶滅危惧IB類								
天: 天然記念物								
希: 種の保存法において指定される希少野生動植物種								

以上のように、現在日本では5科18属29種のネズミの仲間(齧歯目)が生息しています。

ちなみに世界中では約2,300種が確認されており、ビーバーやヤマアラシ、カピバラなども齧歯目になります。

①ニホンジネズミや②カワネズミは、“ネズミ”という名がつくもののモグラの仲間であり、現在は「トガリネズミ形目」に分類されています。

近年、ペットとして人気のハリネズミも「ハリネズミ形目」という別の仲間であり、ネズミではありません。

ネズミの仲間たちの特徴

■一生のび続ける歯

ネズミの仲間の特徴は、なんといっても頑丈な切歯(前歯)。上下2本ずつ生えていて、クルミなどの固い実もガリガリかじることができます。一生伸び続けるので、歯がすり減っても、折れてもへっちゃらです。むしろ、固いものをかじり続けていないと歯が伸びすぎて、まともに食べることができなくなって死んでしまうこともあります。

そのため、飼育用のマウスやペットのハムスターなどには歯の伸びすぎを防止するため、配合飼料を固めたペレットと呼ばれる餌を与えるなど注意が必要です。

■世界中、様々な環境でくらせる

アカネズミは地上で

ムササビやニホンリスは木の上で

ハタネズミは地下で

・・・というふうに、種類によってすむ場所が少しずつちがいで、幅広い生活空間をもちます。

世界中に目を向けてみると、砂漠にすむヨツユビトビネズミ、水辺にすむカピバラやビーバー、北極圏にすむレミングなど、様々な環境に合わせて生活することができるのもネズミの仲間の特徴です。

一言でいうと、ネズミの仲間は「南極大陸をのぞく全世界にすむ」動物なのです。

大きな耳の
ヨツユビトビネズミ



レミング
「qビネズミ」ヒモイウ



キジリオオミミマウス



さらに昨年(2019年)、“世界一高い場所にすむ哺乳類”としてキジリオオミミマウス (*Phyllotis xanthopygus*) がアンデス山脈のユーヤイヤコ山の山頂付近 6200m で確認され、一部界限では驚きのニュースとなったのでした。

■繁殖力がつよい

「ねずみ算式」という言葉を聞いたことがあるかと思います。急激に増えていくことの例えとして使われる言葉ですが、和算のひとつであり、数学的には等比数列であるので実際に計算してみると・・・

「正月に、ネズミのつがい^{つがい}があらわれ、子を12匹産む。そして親と合わせて14匹になる。このネズミは、二月に子ネズミがまた子を12匹ずつ産むため、親と合わせて98匹になる。この様に、月に一度ずつ、親も子も孫もひ孫も月々に12匹ずつ産む時、12ヶ月でどれくらいになるかという、276億8257万4402匹となる。」

(出典：吉田光由著『^{じんこう}塵劫記』現代訳)

数式で表すと

$$2 \times 7^{13-1} = 27\,682\,574\,402$$

とはいうものの、特に繁殖力の強いネズミ科のグループでも(種類や環境によって異なりますが)春と秋の年2回、平均5頭の子を産むとされているので、1番^{つがい}から1年で276億匹以上のネズミが増えるという、とんでもない数字になることはありません。

それでも、哺乳動物の中ではずば抜けた繁殖力であり、地球上に生息する獣類のうち3分の2を占める最も盛大なグループであるがゆえ、人とのかかわりも深く、現代に至っています。

人とネズミのかかわり

「ネズミ」と聞いて、みなさんはどのようなイメージを持たれますか？

◎プラスのイメージ・・・「かわいい」

ミッキーマウスやピカチュウなど、ネズミをモチーフにしたキャラクターはたくさんいます。絵本でも「ぐり

とぐら」や「14ひきシリーズ」のネズミたちに、私たちは子どものころから親しんでいます。

また、ペットとしてハムスターは不動の人気ですし、動物園などのふれあいコーナーではモルモットは必ずといっていいほど活躍しています。冬至の季節になると、ゆず湯に浸かるカピバラの映像がニュースで流れたりもしますね。

小さくてかわいらしいしぐさに癒される人も多いのではないのでしょうか。



×マイナスのイメージ・・・「不潔、汚い、害獣」

14世紀、ヨーロッパ全土に大流行したペスト病。病気の原因となるペスト菌を媒介するのはネズミに寄生するノミであることが発見されてから、「ネズミは病原菌を運ぶ」悪しき生きものとして人々の意識に定着してきました。行政はネズミ捕りを推奨し、交番にネズミのしっぽを持っていくと報奨金がもらえるという時代もあり、「ネズミ捕りコンクール」なんてユニークな対策をしていた行政もあったようです。

現在でも環境衛生対策として行政による一斉駆除や業者による駆除が特に都心部で行われています。

また、人類が農耕を始めてから現代に至るまで、ネズミは人間の食料を食べてしまう宿敵とも言える存在です。ネズミによる穀物類の食害は1年間で中国国民の人口14億人を賄える量に匹敵すると言われており、対策としてネコを飼い始めたり、食糧庫を高床式にするなど、人類は長い歴史の中であの手この手でネズミから食料を守ろうとしてきました。静岡県の登呂遺跡に残る高倉には、床と柱の間に30cmほどの正方形の板をつけることでネズミの侵入を防ぐ「ネズミ返し」がみられます。古代人がいかにネズミに悩まされ、その対策に工夫を凝らしてきたかがうかがえる遺跡です。

このように、同じ“ネズミ”であっても見方によってずいぶんとイメージが変わるのも、良くも悪くもネズミという動物が人間の生活に溶け込んでいるからではないのでしょうか。

ネズミが支える生物生態系

「森にもネズミがいる」と言うと、「えっ!？」と、意外な反応をされることがあります。

おそらく、生物に詳しくない人がイメージするネズミは、いわゆる「家ネズミ」と呼ばれるドブネズミやクマネズミ、ハツカネズミなど、家の天井を駆け回るようなネズミを思い浮かべるのでしょう。

これに対して「野ネズミ」と呼ばれる野生のネズミは1ページの一覧のようにたくさんの種類がいます。島根県内ではアカネズミ、ヒメネズミ、ハタネズミ、スミスネズミ、カヤネズミが見られます。

人家周辺から山間部にかけて生息する野生のネズミは数知れず。しかし、ほとんどが夜行性なので私たちが目にすることはありません。

毎夜せっせと活動しているネズミ。そんなネズミを狙う天敵はイタチ、キツネ、フクロウ、ヘビ、ワシタカ類などたくさんいます。こうした捕食者によって野ネズミが増えすぎることとはなく、農作物や林業の被害が抑えられているのです。また逆に、繁殖率の高いネズミがたくさんいることで高次捕食者である多くの生きもの

の命を支えているとも言えるのです。

余談ですが、トラクターで田起こしした後の田んぼにトビやカラスが舞い降りて土をつんつんしている姿を見たことはありませんか？あれは地中にいたネズミ（主にハタネズミ）が運悪く轢き殺され、その死体を食べている様子だったりします。これからシーズンなので、観察してみたいはいかがでしょうか。

森林にすむアカネズミやヒメネズミ、スミスネズミは、秋になるとドングリを集めて土に埋める“貯食”と呼ばれる行動をします。食べ物のない冬に備えて蓄えているのですが、埋めた場所を忘れてしまったり、死んでしまうこともあります。埋められたドングリは翌春、芽を出すことができるので、ネズミは種子散布をして森づくりにも貢献しているのです。

ちなみに日本のネズミの仲間では冬眠するのはシマリスとヤマネだけです。多くのネズミは小さな体で厳しい冬を乗り越えてがんばっています。

出典：「gakuの今日のヒトコマ」©宮崎学

ネズミの寿命は約2年。

私たち人間からみるととても短い寿命ですが、哺乳動物ほどの動物も生涯の心臓の鼓動・心拍数は20億回と言われています。小さなネズミは「ドキドキ」と心臓の動きが早く、大きなゾウは「ドッキンドッキン」とゆっくりとした動きなのです。こうして考えると、生きている時間はどの哺乳動物も同じだということになるのです。

この説については1992年のベストセラー「ゾウの時間ネズミの時間」に詳しく書かれていますので、興味のある方はご一読ください。

ネズミはネズミの時間の中で精いっぱい生き、子孫を残し、森づくりに貢献し、生物多様性を支えているのです。

人知れず世代を超え、たくましく生きる小さなネズミたち。あまり興味をもたれることのないネズミの世界ですが、子年である今年はネズミに注目してみたいはいかがでしょうか。



参考文献

- (1)宇田川滝男著『ネズミ恐るべき害と生態』（中公新書、1965）
- (2)本川達雄著『ゾウの時間ネズミの時間』（中公新書、1992）
- (3)阿部永『日本の哺乳類』（東海大学出版会、1994）
- (4)成島悦男、北垣憲仁『小学館の図鑑 NEO 動物ネズミのなかまたちクイズつき』（小学館、2020）
- (5)今泉忠明『サンチャイルド・ビッグサイエンス 1月号ねずみにちゅうもく!』（チャイルド本社、2020）
- (6)Web版ナショナルジオニュース『【動画】世界一高い場所にすむ哺乳類 なんとネズミ』（日経ナショナル ジオグラフィック社、2019）

令和元年度 もりふれ倶楽部の歩み

7月4日(木) 出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において環境福祉コース3年生に対し「島根県について」の話と「バランストンボ作り」の指導を行いました。



7月5日(金)み〜もサマースクール(神戸川小学校)

島根県み〜もサマースクールの一環として、出雲市立神戸川小学校児童14名と引率教員6名、出雲市立神西小学校児童8名と引率教員2名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導を行いました。

7月5日(金) 飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校1,2年生に対して「森と水の森林ファンド」事業として自然体験学習の指導を行いました。

7月6日(土) 森林ボランティア(江津東小学校)

江津市立江津東小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、草刈作業をおこないました。



7月13日(土) 「里山塾」第3回山仕事編

(公社)島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園において「里山塾」の山仕事編の第3回、立木の正確な伐倒・枝払い、玉切れの指導を行いました。

7月16日(火) み〜もスクール 第1回母衣小学校

松江市立母衣小学校5年生3クラスに対して、第1回み〜もスクールとして「森林保全の大切さ」の話と間伐材を使った「フクロウのキーホルダーづくり」の指導を、2グループに分かれて2種類のコース交代で行いました。



7月27日(土) 第4回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第4回大人のための自然観察会を開催しました。



7月28日(日) 第3回里山自然塾

島根県主催の第3回里山自然塾「間伐材でワイルドな1日家具職人を楽しむ〜丸太椅子作り、ドラム缶窯ピザで一休み」を参加者22人で実施しました。

7月31日(水)～8月1日(木) 島根県緑の少年団活動発表会対応

島根県緑の少年団連盟主催の「島根県緑の少年団活動発表会」において、参加者に対して、活動発表やキャンプファイヤー運営のサポートの他、間伐材のフクロウのキーホルダー作りや、ネイチャーゲームの指導を行いました。

8月3日（土）掛合小学校4年生親子活動対応

雲南市立掛合小学校4年生児童とPTAに対して、竹を割って竹の釜を作り米粉ケーキ作りの指導と自然と触れ合う散策の指導を行いました。



8月4日（日）第5回里山自然塾

島根県主催の第4回里山自然塾「子供も大人も夏休みを楽しむ～昆虫ゲット実践講座、竹で水鉄砲づくり」を参加者35人で実施しました。



8月17日（土）山陰中央テレビジョン放送対応

山陰中央テレビジョン放送株式会社主催にて、しまね県民の森木工室において、「紙漉き体験」と「米粉ケーキづくり体験」の指導を行いました。



8月18日（日）「里山塾」第2回食べごと編

（公社）島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園において「里山塾」食べ事編の第2回「里山の有機野菜を食べる」を開催しました。第2回では里山生活の中で、小さな畑で自給的な野菜作りが有機栽培で行われてきたことを学び、また素材を活かした夏野菜の調理を行い食しました。

8月23日（金）松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校総合学科地域クリエイト系2年生24名に対して、飯南町来島公民館と飯南町松江農林演習林において「森林保全の大切さ」の講義とネイチャーゲームと樹木観察、伐倒見学とロープを使っての伐倒体験の指導を行いました。



8月24日（土）第5回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第5回大人のための自然観察会を開催しました。

8月25日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座「丸太で椅子作り」を県民の森木工室において参加者18名で実施しました。

8月31日（土）～9月1日（日）「災害に強い森づくり」サマー講座

「災害に強い森づくり」を学ぶサマー講座を講師に世界各地で緑化に取り組まれている田中賢治氏を迎え、出雲市佐田町スサノオホール視聴覚室及び佐田町吉野林地で開催しました。



9月1日（日）第6回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第6回大人のための自然観察会を開催しました。



9月3日（火）み～もサマースクール（にじの会）

み～もサマースクールの一環として、にじの会（八雲小学校、竹矢小学校、大庭小学校）児童29名と引率教員12名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導をおこないました。

9月5日（木）第2回みーもスクール（布部小学校）

安来市立布部小学校1・2年生に対して、第2回みーもスクールとして「葉っぱ調べ」と「葉っぱの工作」の指導をしました。



9月6日（金）第4回みーもスクール（西小学校）

雲南立西小学校4年生に対して、第4回みーもスクールでネイチャーゲームの指導を行いました。



9月7日（土）「里山塾」第4回山仕事編

（公社）島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園において「里山塾」の山仕事編の第4回「刈り払い機講座」を開催しました。



9月8日（日）雲南市立西小学校対応

雲南市立西小学校全児童に対して「森林保全の大切さ」の話をした後、1，2年生に「木切れ工作」、3，4年生に「フクロウのキーホルダー作り」、5年生に「和紙づくり」の指導を行いました。



9月8日（日）第6回里山自然塾

島根県主催の第5回里山自然塾「里山のアート、草木染を楽しむ～和の渋さを感じるバンダナづくり」を参加者22名で実施しました。

9月10日（火）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校1，2年生に対して「緑と水と森林ファンド」事業として、樹木観察の指導を行いました。



9月13日（金）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において環境福祉コース2年生に対して「生物多様性」の話と木の実工作の指導を行いました。

9月13日（金）小中学校特別支援学級対応

津田小学校、古志原小学校、松江第4中学校合同特別支援学級の生徒に対して、木の実工作、森を知る森づくりすごろくゲームの指導を行いました。

9月14日（土）元気な森林をつくろう！

簡易な森林整備ボランティア活動と「元気な森とは何か？」のお話をかんぽ生命の寄付を頂いて、出雲市佐田町スサノオホール視聴覚室及び佐田町吉野林地で開催しました。



9月15日（日）森林ボランティア（出雲商業高校）

森林ボランティア1日限りの作業班で、島根県立出雲商業高等学校学校林の下刈りを実施しました。

9月16日（月）森林ボランティア（東出雲町山地）

森林ボランティア1日限りの作業班で、午後からは松江環境市民会議の皆さんと共に東出雲モデル竹林整備を実施しました。



9月20日（金）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校の生徒に対して「緑と水と森林ファンド」事業として、「自然体験学習」を通して「森の大切さ」について指導しました。



9月26日（木）松江市立持田小学校対応

松江市立持田小学校4年生に対して「森林教室」として、「森林保全の大切さ」の話と「間伐材で和紙作り」体験と「標高当てクイズ」と「間伐及び造材」体験を2班に分かれて指導を行いました。



9月28日（土）～29日（日）島根県森林インストラクタースキルアップ研修

（一社）島根県森林協会主催の「島根県森林インストラクタースキルアップ研修」の企画・運営をサポートさせていただきました。



10月1日（火）緑の少年団出前講座22（安田小学校）

益田市立安田小学校5年生39名に対して、2組に分かれて「森林保全の大切さ」の話と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

10月2日（水）緑の少年団出前講座23（鹿島中学校）

松江市立鹿島中学校1年生44名に対して、2組に分かれて「森林保全の大切さ」の話と「和紙作り体験」の指導を行いました。



10月3日（木）緑の少年団出前講座24（荘原小学校）

出雲市立荘原小学校4年生50名に対して、「森林保全の大切さ」の話と「間伐材で和紙作り」「木切れ工作」の指導を行いました。

10月4日（金）第5回みーもスクール（西小学校）

雲南市立西小学校4年生29名に対して、第5回みーもスクールとして「樹木学習」の指導を行いました。

10月6日（日）樹木医による樹木診断講座

松江市総合運動公園において「樹木医による樹木診断研修」を島根県樹木医会の方の指導で行いました。



10月7日（月）緑の少年団出前講座25（掛合中学校）

雲南市立掛合中学校において、全校生徒50名に対して、「森林保全の大切さ」の講義を行いました。

10月8日（火）緑の少年団出前講座26（波佐小学校）

浜田市立波佐小学校において5, 6年生6名に対して「森林保全の大切さ」の話とネイチャーゲームの指導を行いました。



10月9日（水）緑の少年団出前講座27（中西小学校）

益田立中西小学校において1年生21名、2年生6名に対して「森林保全の大切さ」の話と「木切れ工作」の指導を行いました。

10月10日（木）出雲商業高等学校対応

島根県立出雲商業高等学校において、商業美術科の3年生に対して「森林保全の大切さ」の講義と自然体験活動として「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。



10月11日（金）出雲農林高等学校対応

島根県立出雲農林高等学校生徒に対して、「森林・林業体験研修」として飯南町来島公民館で、午前は「森林保全の大切さ」の講義・下来島林地で人工林の育て方と利用及び樹木学習を、午後より伐倒見学と伐倒体験の指導を行いました。



10月13日（日）第6回里山自然塾

島根県主催の第6回里山自然塾「秋の里山でキノコを楽しむ～キノコ採取のコツ、キノコの鑑定のコツ、キノコ汁を味わう」を参加者37名で実施しました。



10月14日（祝・月）森林ボランティア（江津東小学校）

江津市立江津東小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、下刈りを行いました。

10月15日（火）緑の少年団出前講座28（桜江小学校）

江津市立桜江小学校において、4年生15名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「樹木学習」の指導を行いました。



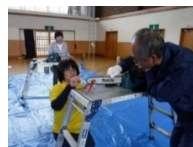
10月17日（木）緑の少年団出前講座29（江津東小学校）

江津市立江津東小学校において、4年生17名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。



10月18日（金）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校の児童に対して「緑と水の森林ファンド」事業として島根の人工林についての話と間伐体験、間伐材を使った和紙作りの指導を行いました。



10月19日（土）第7回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第7回大人のための自然観察会を開催しました。



10月19日（土）川本研修

川本町主催「林業担い手育成支援業務」を森の名手・名人認定者響繁則氏による現地集材研修、Sジット女性指導者豊田真樹子氏、吉川奈月氏による目立てとチェーンソーワークの基礎研修を実施しました。

10月23日（水）緑の少年団出前講座30（寺領小学校）

雲南市立寺領小学校1，2年生20名に対して「森林保全の大切さ」の話と「ネイチャーゲーム」を指導しました。



10月23日（水）松江市立出雲郷小学校対応

松江市立出雲郷小学校5年生に対して、東出雲モデル竹林において「竹林見学会」を松江環境市民会議の皆さんと共に実施しました。



10月24日（木）緑の少年団出前講座31（瑞穂小学校）

邑南町立瑞穂小学校5年生28名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。



10月25日（金）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校1・2年生に対して、「緑と水の森林ファンド」事業として同じようなどんぐりでもたくさん種類があることを知ってもらう目的で、「どんぐりいろいろ」を実施しました。



10月25日（金）奥出雲町立三成小学校対応

奥出雲町立三成小学校5年生19名に対して、「森林保全の大切さ」の話と「竹筒ご飯作り」の指導を行いました。

10月26日（土）森林ボランティア（うぐいす山）

出雲郷幼稚園うぐいす山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、イベント前の総合整備（草刈・枯損木除去・危険植物除去・竹伐採等）を行いました。



10月27日（日）出雲イオンチアーズクラブ対応

出雲イオンチアーズクラブ所属の親子に対して「森林保全の大切さ」の話と「和紙作り」、「ネイチャーゲーム」「紙漉き」の指導を森林公園学習展示館にて行いました。



10月29日（火）第2回みもスクール（母衣小）

松江市立母衣小学校5年生に対して、第2回みもスクールとして、「ネイチャートレッキング」体験と「シイタケ生産現場」の見学及び「間伐」体験を2班に分かれて指導を行いました。

10月31日（木）緑の少年団出前講座32（西ノ島小学校）

西ノ島町立西ノ島小学校3，4年生30名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「飾り炭」の指導を行いました。



11月1日（金）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校3，4年生に対して「緑と水と森林ファンド」事業の中で、「間伐体験」「間伐材を使った紙漉き体験」「島根の人工林の話」の指導を行いました。

11月2日（土）中国電力主催イベント対応

中国電力主催による「次世代層を対象の自然体験型学習」において「伐倒体験」「竹筒で作る米粉ケーキ作り」「木の実工作」「森林保全の大切さ」の話と指導を行いました。



11月3日（祝・日）楽山公園再生イベント

松江市公園緑地課の委託事業の中で、市民緑化活動普及啓発事業「楽山再生」市民ボランティアイベント「楽山公園 秋の自然観察会と自作の竹食器でいただく秋の炊き込みご飯」を実施しました。参加者28名は公園内の自然観察を行い、その後竹で自作の食器をつくり、竹筒で炊いた炊き込みご飯を頂きました。



11月4日（月）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校インターアクトクラブ員に対して、飯南町来島の森において枝打ち指導を行いました。



11月4日（祝・月）松江環境フェスティバル対応

くにびきメッセ大展示場で開催された「松江環境フェスティバル」において竹細工の指導を行いました。



11月5日（火）～8（金）災害に強い作業路作り講座

作業路の匠、橋本光治氏により「災害に強い作業路作り講座」を出雲市佐田町スサノオホール会議室と佐田町吉野林地にて実施しました

11月6日（水）「コラボ会」対応

「コラボ会」NPO活動推進室に対して「もりふれ倶楽部活動紹介」と「家庭でできる簡易燻製・竹筒で炊飯・秋の森林公園自然観察」の指導を行いました。



11月7日（木）第3回みもスクール（布部小）

安来市立布部小学校1・2年生に対して、第3回みもスクールとして「森林保全の大切さ」の話と「焼き芋づくり」「キノコの植菌」の指導を行いました。

11月7日（木）出雲商業高等学校対応

島根県立出雲商業高等学校商業美術科3年生を対象に、学校林を利用した自然体験活動として「竹で作ったオブジェの学校林への設置活動」を島根県森林インストラクター等の指導により実施しました。その後、里山の竹問題についての話をしました。



11月9日（土）「里山塾」第6回山仕事編

（公社）島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園「里山塾」の山仕事編の第6回「チェーンソー講座応用編」でチルホールを使用しての伐倒を開催しました。

11月10日（日）出雲郷保育園対応

出雲郷保育園親子活動「うぐいす山へGO！」に対して、前半と後半の2グループに分かれて「うぐいす山へのぼろう」と「自然物を使って遊ぼう」の指導を行いました。

11月11日（月）、12日（火）、14日（木）出雲西高等学校対応

飯南町来島の森において、11日出雲西高3年生31名、12日2年生43名、14日3年生31名に対して、枝打ちの指導を行いました。



11月12日（火）鹿島・島根小中特別支援学級

松江市立鹿島東小学校において、松江市立鹿島・島根小中学校合同特別支援学級の児童、生徒に対して「間伐材の和紙作り体験」の指導を行いました。



11月13日（水）緑の少年団出前講座33（八雲中学校）

松江市立八雲中学校1年生54名に対して「森林保全の大切さ」の講義を行いました。

11月15日（金）雲南市立佐世小学校出前講座

雲南市立佐世小学校4年生15名に対して「緑の少年団等への出前講座」として、「森林保全の大切さ」の講義「間伐材の和紙作り体験」の指導を行いました。



11月15日（金）第5回みもスクール（西小学校）

雲南市立西小学校生に4年生対して、第5回みもスクールとして、「森林保全の大切さ」の話と「飾り炭体験」の指導を行いました。



11月16日（土）第8回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第8回大人のための自然観察会を開催しました。

11月17日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座「煙とおき火体験（簡易くん製・竹筒リゾット）」で「遊」な時間を）を県民の森木工室において参加者10名で実施しました。



11月18日（月）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校3、4年生に対して「緑と水と森林ファンド」事業として「雑木林と人との関わりの話」「森の名手・名人によるシイタケ生産体験」の指導を行いました。

11月21日（木）まつえ市民大学対応

ふるさと森林公園学習展示館において、松江市民大学いきいき健康コース受講生に対して「間伐材で和紙作り」と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。



11月22日（金）奥出雲町立三成小学校対応

奥出雲町立三成小学校4年生15名に対して「森林保全の大切さ」の話と「間伐材で和紙作り」の指導を行いました。

11月23日（土）復興ボランティア

第1回故栗栖誠氏山林復興ボランティアを、浜田市の篤林家故栗栖誠氏の山林において実施しました。



11月24日（日）第7回里山自然塾

島根県主催の第7回里山自然塾「秋の里山でキノコ作りを楽しむ～シイタケやナメタケ作りのコツを学び植菌を体験、竹筒で作るキノコご飯」を参加者26名で実施しました。



11月25日（月）出雲市立窪田小学校出前講座

出雲市立窪田小学校3・4年生16名に対して「緑の少年団等への出前講座」の試行」事業として、「森林保全の大切さ」の講義と「樹木観察」の指導を行いました。



11月26日（火）緑の少年団出前講座34（久手小学校）

大田市立久手小学校5年生40名に対して「森林保全の大切さ」の話をしました。



11月27日（水）緑の少年団出前講座35（福井小学校）

海士町立福井小学校5・6年生18名に対して「森林保全の話」と「木切れ工作」の指導を行いました。



11月28日（木）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校5・6年生に対して「緑と水の森林ファンド」事業の中で「間伐材を利用した丸太動物づくりとウッドデッキづくり」の指導を行いました。

11月30日（土）森林ボランティア（高山小学校）

大田市立高山小学校竹林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として竹林整備をおこないました。

12月1日（日）第8回里山自然塾

島根県主催の第8回里山自然塾「クリスマスの定番里山素材のリース作りを楽しむ～里山素材のリース作り、熾火で作るチキンソテー」を参加者25名で実施しました。

12月2日（月）出雲農林高等学校対応

島根県立出雲農林高等学校環境科学科1年生33名に対して、「島根の森林・林業と森林保全について」林業技士野田真幹・「響式原木シイタケ生産システムの確認」森の名手名人響繁則・林業技士野田真幹の講義と林研グループ中心メンバーによる「シイタケの植菌体験」・「シイタケのホダ木の伏せこみ」体験実習の指導を行いました。



12月3日（火）松江市立本庄小学校対応

松江市立本庄小学校4年生に対して「森林教室」として、「森林保全の大切さ」の話と「間伐材の和紙作り」また「樹高当てクイズ」・「間伐体験」・「造材体験」・「地元植林地見学」の指導を行いました。

12月3日（火）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校1，2年生に対して「緑と水の森林ファンド」事業の中で、「落ち葉の下を覗いてみたら」の指導を行いました。



12月5日（木）緑の少年団出前講座36（都万中学校）

隠岐の島町立都万中学校1～3年生33名に対して「森林保全の大切さ」の話と「間伐材の和紙作り」の指導を行いました。



12月7日（土）森林ボランティア（高山小学校）

大田市立高山小学校竹林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として竹林整備を行いました。

12月8日（日）「里山塾」第3回食べ事編

（公社）島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園「里山塾」の食べ事編の第3回「里山原木キノコを食べる」を参加者26名で開催しました。第3回ではシイタケ・ナメタケ・ヒラタケ等、原木で生産されたキノコについて人との関りや生産方法を学び、調理して食べました。



12月8日（日）第9回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第9回大人のための自然観察会を開催しました。

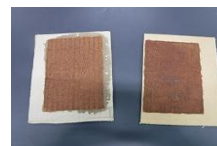


12月12日（木）緑の少年団出前講座37（宍道小学校）

松江市立宍道小学校5年生52名に対して、2クラスに分かれて「森林保全の話」と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

12月13日（金）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校2年生、43名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「間伐材による紙漉き体験」の指導を行いました。



12月17日（火）雲南市立阿用小学校出前講座

雲南市立阿用小学校4年生10名に対して「森の少年団等への出前講座」として、「森林保全の大切さ」と講義と「間伐材の和紙作り体験」の指導を行いました。



12月18日（水）松江市立出雲郷小学校対応

松江市出雲郷小学校5年生60名に対して、東出雲モデル竹林において間伐された竹を使って簡単な生活道具（竹皿）作りを、松江環境市民会議の皆さんと共に実施しました。



1月10日（金）松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校生徒に対して「島根の森林・林業」と「森林保全の大切さ」の講義と「シイタケの植菌体験」・「シイタケのホダ木の伏せこみ」体験実習の指導を行いました。

1月11日（土）「里山塾」第4回食べ事編

（公社）島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園「里山塾」の食べ事編の第4回「島根の雑煮食べくらべ」を開催しました。第4回では豊かな雑煮文化を持つ島根県で出雲地区から2種類、石見地区から2種類の雑煮を実際に調理、そして食し、またその背景の文化についても学びました。



1月12日（日）第9回里山自然塾

島根県主催の第9回里山自然塾「春の七草粥と餅つきを楽しむ～春の七草講座七草粥を食べる、餅をつきいただく」を参加者25名で実施しました。

1月13日（祝・月）第10回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第10回大人のための自然観察会を開催しました。



1月15日（水）緑の少年団出前講座38（出雲郷小学校）

松江市立出雲郷小学校特別支援学級児童8名に対して「木切れ工作」の指導を行いました。

1月18日（土）元気な森を作ろう！

かんぽ生命の寄付を頂いて、出雲市佐田町吉野山林と出雲市佐田町サノオホールにおいて、「元気な森を作ろう！～冬の森を楽しみながら～簡易な森林整備ボランティア活動と「シイタケ」植菌体験等を実施しました。



1月19日（日）森林ボランティア（東出雲町）

松江市東出雲町東出雲モデル竹林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として整備をおこないました。午後からは松江環境市民会議の皆さんと共に行いました。

1月20日（月）雲南市立鍋山小学校出前講座

雲南市立鍋山小学校3・4年生16名に対して「緑の少年団等への出前講座」として、「森林保全の大切さ」の講義と「間伐材の和紙作り体験」「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。



1月21日（火）緑の少年団出前講座39（南中学校）

出雲市立南中学校1年生33名に対して「森林保全の大切さ」の講義を行いました。



1月22日（水）緑の少年団出前講座40（みなみ小学校）

出雲市立みなみ小学校5年生19名に対して「森林保全の大切さの話」を行いました。

1月23日（木）第5回み～もスクール（布部小学校）

安来市立布部小学校1・2年生に対して、第5回み～もスクールとして「竹筒ご飯作り」と「土の中の生き物探し」の指導をしました。



1月25日（土）復興ボランティア

第2回故栗栖誠氏山林復興ボランティアを浜田市の篤林家故栗栖誠氏の山林において実施しました。

1月27日（月）出雲市立大社小学校対応

弥生の森博物館と木育の森において出雲市立大社小学校4年生45名に対して、木育の森にて間伐体験・植樹・自然観察を2班に分かれ実施しました。その後弥生の森博物館へ移動、焼き芋を食してもらい、木の実から炭ができることを話し、「森と林業・農業・そしてSATOYAMA」と題して「森林保全の大切さ」の話をしました。



2月9日（日）森林ボランティア（楽山公園）

松江市楽山公園において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として竹林整備を行いました。



2月16日（日）第10回里山自然塾

島根県主催の第10回里山自然塾「この冬ツルかご編みを楽しむ～ベテラン師匠に教わる本格ツルかご編み」を参加者20名で実施しました。カゴ編みの材料となるツルについての話を聞いた後、準備されたオオツツラフジやアオツツラフジ、アケビ等の材料を使ってかご編みに挑戦しました。



2月20日（木）緑の少年団出前講座41（湖陵小学校）

出雲市立湖陵小学校3年生45名に対して「森林保全の大切さ」の話と「木切れ工作」の指導を行いました。



2月23日（日）「里山塾」第5回食べ事編

（公社）島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園「里山塾」の食べ事編の第5回「寒い冬に里山の加工食品を食べる」を参加者17名で開催しました。第5回では里山で冬季用の保存食として工夫を凝らした干し柿・凍み豆腐の加工食品が生み出されてきました。それらの製法や歴史を学び、調理をしました。



3月1日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座「今日限りの雪アートとおき火のホイル焼きコースで『遊』な時間を」を県民の森木工室において参加者9名で実施しました。



3月14日（土）水源の森、サクラの広場づくり事業

環境学習の一環として、佐田町吉野林地で40本のヤマザクラの苗を植樹しました。

3月15日（日）「里山塾」第5回山仕事編

（公社）島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園「里山塾」の山仕事編の「枝打ち講座」を開催しました。

令和元年度みーもサマースクールを県東部の学童クラブや保育園等 20 団体に対して実施しました。今年度も大変好評でした。

【参加者からの感想】

以前から参加したいと思っており、今年ようやく参加することができました。雨で心配していましたが、楽しい工作をすることができて良かったです。森の中を歩くことも普段はできませんので、子どもも良い体験ができたと思います。



普段はおとなしい子が自然の中では生き生きと積極的に活動しているのが印象的でした。引率もとても勉強になり、自然に触れることで大人も子供もリフレッシュできました。

山や川のあるところに住んでいますが、こんな風に自然体験できる場所がなく、とても楽しく過ごさせていただきました。インストラクターの方もおられて、安心して活動することができました。



専門の方に教えていただくことで、引率の大人もたくさんの気づきがありました。また、子どもたちの様々な表情を見ることができ、嬉しかったです。また機会があれば来たいと思いました。

もいふれ倶楽部今後の予定2020 4月~7月

7月4日(土) 10時~15時 森林ボランティア1日限りの作業班:江津東小学校学校林下刈り
9時50分 江津東小学校駐車場集合

☆参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

7月4日(土) 9時30分~11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

7月5日(日) 10時~15時 第3回里山自然塾
「人工林からの贈り物~間伐材で和紙の葉とネームプレートを作ろう!」

☆参加者募集中:参加費500円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物~飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

7月11日(土) 10時~15時 第1回 里山生活塾 ふるさと森林公園
「目立てからはじめるチェーンソー実践講座」はじめての方大歓迎

☆参加者募集中:参加費500円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物~チェーンソーと関連工具、燃料・オイル、ヘルメット
定員10名(申し込み順)
チェーンソーが無い方は事前にその旨お伝えください。

7月12日(日) 10時~15時 第2回 里山生活塾 ふるさと森林公園
「初心者やはじめての方向けの刈払い機実践講座」プロの方のご遠慮ください。

☆参加者募集中:参加費500円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物~ヘルメット・手袋
定員10名(申し込み順)
刈払い機はこちらで準備したものを交替で使用します。

7月18日(土) 10時~15時 森林ボランティア1日限りの作業班:うぐいす山整備
9時50分 松江市出雲郷公民館駐車場集合

☆参加者募集中:1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鉋・鋸等
前日正午まで申し込みお受けします。会員の方には、交通費補助 2千円を支給

します。場所のわからない方はご相談ください。午後からはまつえ環境市民会議のメンバーも合流します。

7月25日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：出雲商業木育の森下刈り
9時50分 出雲商業高校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

7月26日(日) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：森林公園植樹地下刈り
9時50分 ふるさと森林公園学習展示館集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

8月1日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

8月2日(日) 10時～15時 第4回 里山自然塾「竹おもちゃパラダイス」
竹の水鉄砲づくり等

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

8月10日(月) 10時～12時 県民の森山の日イベント 竹で水鉄砲をつくり川で遊ぼう!

☆参加者募集中：参加費500円 場所：県民の森木工館
持ち物～雨天時は雨具・サンダル・着替え等 定員15名(申し込み順)

8月22日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：江津東小学校林下刈り
9時50分 江津東小学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

8月23日(日) 10時～15時 丸太でイスづくり

☆参加者募集中：参加費500円 場所：県民の森木工館

持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

8月29日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：出雲商業木育の森下刈り
9時50分 出雲商業高校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌

前日正午まで申し込みお受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

8月30日(日) 10時～15時 第4回 里山生活塾

木を安全に無理なく切るための丸太を使ったチェーンソーワークの訓練

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～チェーンソーと関連工具、燃料・オイル、ヘルメット

定員10名(申し込み順)チェーンソーが無い方は事前にその旨お伝えください。



※イベントのお申込みは、すべて下記もりふれ倶楽部事務局までお願いします。

もりふれ倶楽部会報

NO. 60

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586

FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>